

領域	基礎助産学	授業科目	性と生殖の健康科学
単位 (授業時間/時間数)	1 (4 / 30)	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属	

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子と補完代替医療(アロマセラピー)の心身に及ぼす影響と実際を理解する。

授業内容

1. アロマセラピーの概要
 - 1) アロマセラピーとは
 - 2) 精油とその効果
 - 3) 精油の使用方法
 - 4) 産科領域での取り組み
 - (1) 芳香浴
 - (2) 吸入
 - (3) 沐浴
 - (4) マッサージ
 - (5) 湿布

授業の進め方

講義 実技

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

Mothewell Maternity Fitness Plan (Human Kinetics)

評価方法

出席と講義・演習の参加状況及びレポート評価 (5点)

領域	基礎助産学	授業科目	性と生殖の健康科学
単位 (授業時間/時間数)	1 (6 / 30)	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属	

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子の食と栄養について理解する。

授業内容

1. 母子と栄養
 - 1) 母子の健康と食生活
 - 2) 妊婦の栄養
 - 3) 授乳婦の栄養
 - 4) 乳幼児の栄養
 - 5) 学童・思春期の子どもの栄養
2. 母子と嗜好品
 - 1) タバコ
 - 2) アルコール

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

食品成分表 (女子栄養大学出版部)
 新谷弘実著 胃腸は語る (弘文堂)
 病気にならない生き方 (サンマーク出版)
 その他、安保徹著書
 ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

終講後 客観式テスト (30点)

領域	基礎助産学	授業科目	性と生殖の健康科学
単位 (授業時間/時間数)	1 (4 / 30)	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属	

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子に影響を与える薬剤について理解する。

授業内容

1. 母子と嗜好品・薬物
 - 1) 依存性薬物

2. 妊娠期に用いる薬剤
 - 1) 薬剤の胎芽・胎児に対する影響
 - 2) 妊娠・分娩・産褥期における薬剤投与の原則
 - 3) 妊娠中に使用可能な薬剤
 - 4) 異常妊婦に用いる薬剤
 - 5) 合併症妊娠に用いる薬剤

3. 分娩期・産褥期に使用する薬物とその影響
 - 1) 分娩期に使用する薬物
 - 陣痛促進剤
 - 産科麻酔にて使用する薬剤
 - 2) 産褥期に使用する薬物
 - 3) 授乳と薬物

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)
 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期 (医学書院)
 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 (医学書院)
 病気がみえる⑩ 産科(MEDIC MEDIA)

参考図書

ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

終講時 客観式テスト (20点)

領域	基礎助産学	授業科目	性と生殖の健康科学
単位 (授業時間/時間数)	1 (2 / 30)	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属	

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子の口腔衛生について理解する。

授業内容

1. 母子の歯科保健
 - 1) 歯、口腔の発生・発育とその異常
 - 2) 摂食と口腔機能の発達
 - 3) 乳幼児の齲蝕
 - 4) 妊婦・産後の歯科保健

授業の進め方

講義

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

内野博行著 こどもの歯を「治療・矯正」する前に (ジャパンマニスト育児新書)
 ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

評価方法

出席と講義参加状況で評価する。

領域	基礎助産学	授業科目	性と生殖の健康科学
単位 (授業時間/時間数)	1 (4/ 30)	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属	

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

母子の癒しとして、補完代替医療（鍼灸）の知識と技術を学ぶ

授業内容

1. 東洋医学と鍼灸
2. 鍼灸の方法
3. 東洋医学と女性のからだ
4. 女性のトラブルと鍼灸
 - 1) 便秘予防
 - 2) 月経痛
 - 3) 冷え
 - 4) つわり
 - 5) 骨盤位
 - 6) 和痛
 - 7) 陣痛促進
 - 8) 乳汁分泌促進
5. 演習
 - 1) 経穴の探し方
 - 2) 鍼灸の実際

授業の進め方

講義 実技

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)

Mothewell Maternity Fitness Plan (Human Kinetics)

評価方法

出席と講義・演習の参加状況及びレポート評価 (5点)

領域	基礎助産学	授業科目	性と生殖の健康科学
単位 (授業時間/時間数)	1 (8 / 30)	開講時期	前期
担当講師名	非常勤講師	講師所属	

科目目標

母子の健康に影響を与える要因について学び、健康管理の重要性について理解する。

授業目標

妊産婦の運動生理学について理解する。

授業内容

1. 母子と運動

1) 妊産婦の運動生理学

- (1) 妊婦のスポーツの目的
- (2) 妊婦のスポーツの問題点
- (3) 運動に対する母体の反応
- (4) 運動による胎児の反応
- (5) 妊婦のスポーツのガイドライン

2) 妊産婦の運動の実際

- (1) 運動の考え方
- (2) 身体活動とメッツ
- (3) エクササイズの種類
- (4) エクササイズ時の基本姿勢
- (5) ストレッチとエクササイズの実際
- (6) 集団実技指導の実際
- (7) 妊婦スポーツの種類
- (8) マタニティーヨガ

授業の進め方

講義 実技

教科書

助産学講座 3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 (医学書院)

参考図書

ホリスティック医学 (日本ホリスティック医学協会)
 Mothewell Maternity Fitness Plan (Human Kinetics)

評価方法

終講時 客観式テスト (40点)